

看護専門科目	臨床応用看護学					
看護学科	必修	1単位	講義	平成30年度	前期	2年次
科目名	母性看護学概論 Introduction of Women and Newborn Nursing					
担当教員	江南宣子					
目的	母性看護の基盤となる概念を学ぶことで生命と母性に関心が寄せられ、母性看護の意義および役割について考えられる。また、母性を取り巻く現状と母性看護の対象を学び、女性特有の健康問題の解決に向けて必要なケア方法について考える力を養う。					
目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>母性の概念と生命の神秘を学び、母性看護の意義と役割について理解できる。</li> <li>セクシュアリティ（人間の性と生殖）の概念と意義が理解できる。</li> <li>リプロダクティブヘルス/ライツの概念を学んで、女性の人権とQOLについて考えられる。</li> <li>母性を取り巻く環境と、母子保健活動の重要性が理解できる。</li> <li>母性機能を果たす為の法律や制度が理解できる。</li> <li>女性のライフサイクル各期における身体的、精神的、社会的特性を統合して理解でき、健康問題の解決や健康の維持増進のための援助を計画して実施できる。</li> <li>性と生殖に関連した社会の動向に関心を持ち、自らの性および生命（いのち）と重ねながら考え尊重する言動が見られる。</li> </ol>					
他科目との関連	法律と暮らし、関係法規、生命と科学、家族看護学					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	筆記試験	定期試験				0.8
	レポート	課題レポート				0.1
	記録等	授業態度（学びと感想カード）				0.1
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	ナーシンググラフィカ母性看護実践の基本（メディカ出版）					
参考資料	系統看護学講座 母性看護学概論（医学書院）、その他適宜配布					
備考 （受講上注意、事前学習等）	自分または兄弟姉妹の母子健康手帳の妊娠中、分娩、一ヶ月健診までの記述ページのコピーをとっておく。自分自身の出生に関する話や名前の由来、親の子に対する思いや、出産における母子に対する家族の思いを聴いておく。また、日頃から女性の健康に関する情報（新聞、医学雑誌など）に対して関心、興味を持つ意識を高める。					